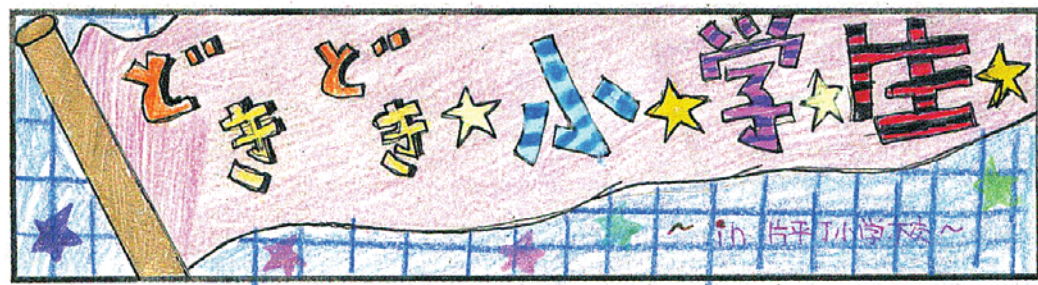


NIE特集

Newspaper In Education



片平丁小

学校名 仙台市立片平丁小学校
所在地 仙台市青葉区片平1の7の1
電話 022 (223) 3846
校長 米山 健治
児童 411人

瑞鳳寺の鐘の秘密を探れ!

幸せな一日願いごとく

知り隊

今日も「ゴン」と鐘の音が聞こえます。夕方6時を告げる瑞鳳寺の鐘です。寺は、私たちの通う片平丁小から広瀬川を渡った小山の森の中にあります。

朝と夕生活の目安に



7年、仙台藩の2代藩主伊達忠宗によって建てられました。太平洋戦争の時、政宗公の眠る瑞鳳殿は焼けたが、瑞鳳寺あたりは被害が少なく焼け残りました。ということですが、今、表にある鐘は2代目、初代の鐘は本堂の入り口に置いてあります。大きな音を響かせるため、とても大きく、龍の飾りが付いた立派なものでした。



日本では鐘を鳴らす習慣は約600年前から、時間を知らせるためにあったそうです。寺では表にある鐘鎌田智裕さんに取材する。真ん中の後ろにあるのが初代の鐘

鐘をつく時刻は、夕方だ。夕方の鐘は、今日一日を振り返りながらつくります。と、息子の副住職・智裕さんが毎日交代でついています。鐘をつく時は、夕方6時にもついています。回数はいくつかありますが、最初は「ゴンゴン」と鳴らします。寺院に響く音が、鐘を鳴らすとき、中々戻りません。最後に「ゴンゴン」と鳴らします。寺院に響く音が、鐘を鳴らすとき、中々戻りません。最後に「ゴンゴン」と鳴らします。

は大変だと言います。でも「お寺の鐘で起きる人や帰る人など、生活の目安になっている人たちのために頑張っています」とのこと。どのよう願っていますか。

地下鉄 マナー守って

私は、地下鉄の中でお年寄りや立っているのに、若い人たちが優先席に座る様子を見て腹が立ったことがあります。公共の場で、周りを気にせず大きな声で話している姿も気になります。なぜ席をゆずってあげないのか、とても不思議です。自分勝手な行動で周りの人に迷惑をかけている大人に腹が立ちます。

私は以前、おばあさんに席をゆずってあげたことがあります。すると、おばあさんが「ありがとう」と言ってくれました。とてもうれしくて、やってよかったと思いました。お互いに相手思いやり、席をゆずり合ってみんなが気持ちよく乗ることができる地下鉄になってほしいと思います。(6年・仙台香海)

給食残さず食べよう

給食を残すのは、絶対におかしいと思う。理由は二つある。

一つは、作った人の気持ちを考えていないからだ。作った人は、食べる人のことを考え、一生懸命作ってくれている。それを残していいはずがない。もう一つは、世界では約7億人が食料不足で苦しんで、毎年1200万人以上の子どもが飢えで死んでいるからだ。

このような人がいるのに、平気で給食を残している。ぼくはこの事実を知ってから、毎日残さずに給食を食べたい。世界では給食を食べられない子どももいるが、みんなは食べることができる。そのことに感謝し、できるだけ残さないようにしてほしい。(6年・城戸俊)



おかしのに
1年・石山空

モルモットと遊んだこと
2年・江戸光一

がんばった南中ソーラン
3年・平間香乃

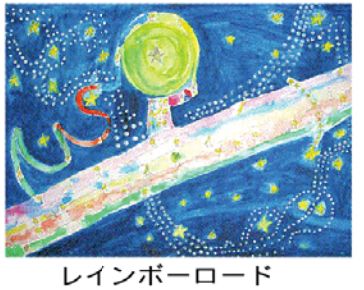
うきうきキャンパス



わたしの顔
わかき学級・下館創葉



キャンパス
4年・伊東篤哉



レインボーロード
5年・吉田悠人



注文の多い料理店
6年・山本雄

教え隊

北海道白老小と姉妹校交流



片平丁小では毎年、北海道白老町の白老小と姉妹校交流をしています。仙台藩が白老町を陣屋とし、警護に当たったのが縁で交流が始まりました。今年で32年目になります。昨年11月に、片平丁小の代表が白老小に行きました。互いの学校紹介をしたり、地域の歴史や特産物について調べたりしました。人とのつながりを、これからの活動に生かしていきたいです。

今年白老小の代表が片平丁小に来るので、あたたかく迎えたいです。

文・菊池勘太、桶川裕矢、渡辺宇恭(6年)

歴史や特産物調べる

編集後記

今回の新聞作りでは、瑞鳳寺の鐘の秘密と白老小との交流について取り上げました。いつも聞いている鐘の音、完成したときは達成感があつた。副住職さんの語り、よかったかがあった。いかに伝えているかが分かって、みんなに知らせてあげたい。また、32年間の歴史や特産物について、白老小との交流に合った新聞を作っていること、たいと思いました。

新聞は、一々作るだけでも大変なことがわかりました。取材や原稿を書くこと、編集、印刷、配布まで、大変な作業です。でも、みんなが協力して、楽しい新聞を作ることができました。

編集委員：香高優佳、佐藤香瑠菜、菅野隆雨、水野鈴衣、渡辺宇恭、石田菜、菊池勘太、伊東秀斗、早坂泰音、藤根光、松本華奈、桶川裕矢、題字デザイン：鎌田佳歩(6年)

指導教諭：浅野郁子、佐々木淳史

毎月第2・4火曜日発行

これまでの掲載校の紙面を河北新報のホームページ(KOLNET)で見ることができます。